

# 事務事業シート\_基礎シート

①	事務事業名	青少年健全育成事業	開始年度	
	事務事業通番	—	予算名	予算なし
	分類区分	ソフト(任意)	枝番	
	事務事業の法的根拠	佐久穂町青少年育成協議会規約		
	関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

②	総合計画の体系(H29～R8)			
	基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり		
	施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実		
		設定した目標	—	
	主な施策	9-3 放課後保育と家庭支援		

③	コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27～R1)			
	基本目標	設定した目標 —		
	施策	重要業績評価指標(KPI) —		
	事業名			

④	行財政改革大綱における進捗状況(H26～R2)			R2
	活動計画名	101	青少年健全育成事業	A

⑥	目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	総合計画	—	—										
	創生戦略	基本目標	—										
		施策	—										

(千円)

⑦	決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	事業費	0	0	0	0	0	0						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0	0						
	国県補助金												
	その他												
人件費	職員数(A)												
	職員数(B)												
	職員数(C)			0.10	0.05	0.05	0.05						
	正職員以外												
	概算人件費	0	0	609	304	304	304	0	0	0	0	0	0
	総事業費	0	0	609	304	304	304	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

⑤	対象	青少年育成協議会・青少年・町民
	事業概要	佐久穂町青少年育成協議会を起点として、青少年と関わる学校・地域・各種団体・家庭の連携をはかる。 信州あいさつ運動(4月) 佐久穂町青少年育成協議会総会の開催(6月) 「青少年の非行・被害防止全国強調月間」の街頭啓発等の実施(7月) 青少年サポーターの選出・研修会等への参加。
	意図	青少年と関わる学校・地域・各種団体・家庭の連携をはかり、子ども・若者の育成を支援する。
	事業実施の経緯	以前は教育委員会(生涯学習課)に事務局があったがH23年度からこども課に事務局をおいている。 H23年度まで全国子ども会安全会に加入 対象者 町内小中学生及び育成指導者 26年度から各種団体活動補助金を生涯学習課へ統合。  6月開催する総会は、各団体等の情報交換の場としても機能している。また、街頭での啓発活動を協働で行うことで青少年への啓発に繋がるとともに、各団体等の連帯感が生まれる。

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	佐久穂町要保護児童対策地域協議会	開始年度	H19
事務事業通番	—	予算名	予算なし
分類区分	ソフト(任意)	補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	佐久穂町要保護児童対策地域協議会設置要綱		
関係する個別計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)		
基本構想		
施策	設定した目標	—
主な施策		

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)		
基本目標	設定した目標	—
施策	重要業績評価指標(KPI)	—
事業名		

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	—	—										
創生戦略	基本目標	—										
	施策	—										

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	0	0	0	0	0	0						
財源内訳	一般財源	0	0	0	0	0						
	国県補助金											
	その他											
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)					0.10	0.20					
	職員数(C)											
	正職員以外											
概算人件費	0	0	0	0	838	1,677	0	0	0	0	0	
総事業費	0	0	0	0	838	1,677	0	0	0	0	0	

⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	児童福祉法第6条の3に規定する要保護児童又はその疑い若しくはおそれのある児童
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要保護児童及びその保護者に関する情報その他要保護児童の適切な保護を図るために必要な情報の交換を行うと共に、要保護児童に対する支援の内容に関する協議を行う。</li> <li>・必要に応じて、代表者会議又は専門会議(個別ケース会議)を開催する。</li> <li>・個別ケースとしては、「児童虐待」が多い。</li> </ul>
意図	保護者のいない児童、保護者に監護させることが不適当な児童、あるいは身体的・精神的傷害が認められたり、行動に問題のある児童を保護する。
事業実施の背景・これまでの経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対象児童毎に、佐久児童相談所、佐久保健福祉事務所、町保健師、小中学校、警察等と協議を行い、一時保護、措置、経過観察等の対応を実施している。対応件数は年間数十件。</li> </ul>

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	出生祝金支給事業		開始年度	
事務事業通番	103210	予算名	児童福祉一般経費	枝番 1
分類区分	ソフト(任意)		補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	・児童福祉法 ・佐久穂町児童館条例 ・佐久穂町児童館条例施行規則			
関係する個別計画	こども・子育て支援計画			

② 総合計画の体系(H29~R8)	基本構想 重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり			
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実			
	設定した目標	B-9 合計特殊出生率		
主な施策	9-1 出産・子育ての包括的支援			

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	基本目標			
	設定した目標	-		
	施策	重要業績評価指標(KPI) -		
	事業名			

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	1.41	1.58	1.31	1.10	1.07	1.07						
創生戦略	基本目標	-	-									
	施策	-	-									

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	3,600	3,500	3,150	3,150	2,300	2,550						
財源内訳	一般財源	3,600	3,500	3,150								
	国県補助金											
	その他				3,150	2,300	2,550					
人件費	職員数(A)											
	職員数(B)											
	職員数(C)			0.10	0.10	0.10	0.10					
	正職員以外											
	概算人件費	0	0	609	609	609	609	0	0	0	0	0
総事業費	3,600	3,500	3,759	3,759	2,909	3,159	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	出生時に両親又はその一方及び出生児が佐久穂町の住民票に記載されおり、現に町内に居住している方
事業概要	上記の条件を満たす出生児の保護者へ、一人あたり下記の金額を支給する。 [第1子・2子]50,000円、[第3子]100,000円
意図	当事業により、明るい家庭づくりと次世代を担う新生児の健全な成長を促進するとともに人口減少対策とする。
事業実施の背景・これまででの経過	合併前からの事業を引き継いでいる。 以前は対象者の指定する口座へ振り込むことで支給していたが、H24年度から町長室にお越しいただき直接お渡ししている。 また、その様子は広報でお知らせしている。

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	遺児給付金事業	開始年度	
事務事業通番	103210 予算名 児童福祉一般経費	枝番	3
分類区分	ソフト(任意)	補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	遺児給付金支給要綱		
関係する個別計画	地域福祉計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	
施策	設定した目標   -
主な施策	

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	父又は母と死別した児童を監護している方
事業概要	対象年齢:18歳未満(1月1日の年齢による) 給付額:12,000円/年(8月支給)
意図	父又は母と死別した児童の福祉の増進
事業実施の背景・これまで経過	昭和46年・・・親との死別による児童への福祉の増進を図るという点から佐久町遺児給付金支給事業開始。 平成17年・・・合併により佐久穂町遺児給付金事業となる。 平成27年・・・27年度より、機構改革により主管課がこども課になる。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	156	144	120	120	120	132						
財源内訳												
一般財源	156	144	120	120	120	132						
国県補助金												
その他												
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)				0.05	0.05	0.05						
正職員以外												
概算人件費	0	0	0	304	304	304	0	0	0	0	0	0
総事業費	156	144	120	424	424	436	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	あゆみ園運営費負担金	開始年度	
事務事業通番	103210	予算名	児童福祉一般経費
分類区分	ソフト(任意)	枝番	4
事務事業の法的根拠	児童福祉法		
関係する個別計画	地域福祉計画・障害者計画・障害者福祉計画		

② 総合計画の体系(H29～R8)	
基本構想	
施策	設定した目標   -
主な施策	

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27～R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26～R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	2,118	2,044	3,270	1,855	3,724	3,715						
財源内訳												
一般財源	2,118	2,044	3,270	1,855	3,724	3,715						
国県補助金												
その他												
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)			0.05	0.05	0.05	0.05						
職員数(C)			0.20	0.20	0.20	0.20						
正職員以外												
概算人件費	0	0	1,637	1,637	1,637	1,637	0	0	0	0	0	0
総事業費	2,118	2,044	4,907	3,492	5,361	5,352	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	療育の必要な児童(児童発達支援を含む)及びその保護者
事業概要	<p>○児童福祉法に基づく「児童発達支援」と、単独事業での「母子通園」 事業所は小海町にあり南佐久郡6か町村で共同運営している。事務局は小海町町民課が所管。各町村の利用者数等に応じて算出される負担金により運営。負担割合【均等割:20%、児童割(利用者割):30%、人口割:50%】</p> <p>○利用にあたっては、健診や教室等での保護者からの相談や、保健師、心理士等の専門職の見地から必要性を判断しつなげている。</p>
意図	日常生活の自立支援、集団への適応訓練など、対象児に応じた療育を提供。 早期発達支援の実施
事業実施の背景・これまでの経過	<p>当初は母子通園訓練事業のみであったが、障害者自立支援法に児童デイサービスが位置づけられ障害福祉サービス(受給者証の発行)の利用者も対象となっている。H24年度からは児童福祉法での「児童発達支援事業」に移管された。</p> <p>・平成27年度から主管課をこども課に移管(児童発達支援支給決定等は健康福祉課)。 ①児童発達支援事業は、児童福祉法の給付費の報酬単価基準による。②単独事業は1回あたり3,000円を郡下町村で負担。</p>

# 事務事業シート\_基礎シート

①	事務事業名	学童クラブ運営事業	開始年度	
	事務事業通番	103211	予算名	放課後児童健全育成事業
	分類区分	ソフト(任意)	枝番	0
	事務事業の法的根拠	子ども・子育て支援法、児童福祉法、学童クラブ運営要綱、学童クラブ利用料徴収条例		
	関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

②	総合計画の体系(H29~R8)			
	基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり		
	施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実		
		設定した目標	B-9 こどもセンター月平均利用者数	
	主な施策	9-3 放課後保育と家庭支援		

③	コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)			
	基本目標	II 子育て・教育コミュニティ「住み続ける誇り」を養い「選ばれる町の魅力」をもたらす子育て・教育環境の形成		
		設定した目標	II 生産年齢人口(15~64歳)における「子育て・教育環境魅力指数」町/行政以外	
	施策	II-1 こどもセンターや親子に寄り添うコミュニティの充実		
		重要業績評価指標(KPI) II-1 子育て支援研修の参加人数		
	事業名	II-1 (1) 児童館・学童クラブ		

④	行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)		R2
	活動計画名		

⑥	目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	総合計画(基準値・目標値は学童クラブ・児童館の合計)	1,700人	1,800人(R1)	1506	1617	1484	1024						
	創生戦略	基本目標	3.45/3.11	3.65/3.45									
		施策	2人	20人(H28-R1)	累計23人	累計23人	累計23人						

(千円)

⑦	決算額の推移		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	事業費		13,644(改修費分10,311除く)	14,099	14,895	15,597	15,183	27,670						
	財源内訳	一般財源	6,249	6,321	6,294	8,456	8,133	12,046						
		国県補助金	6,320(改修費分4,666除く)	6,496	7,108	5,692	5,800	6,363						
		その他	1,075	1,282	1,493	1,449	1,250	9,261						
	人件費	職員数(A)												
		職員数(B)			0.20	0.20	0.20	0.20						
		職員数(C)				0.05	0.05	0.05						
		正職員以外			11,492	11,229	10,695	11,929						
		概算人件費	0	0	13,169	13,210	12,676	13,910	0	0	0	0	0	
	総事業費		#VALUE!	14,099	16,572	17,578	17,164	41,580	0	0	0	0	0	

⑤	対象	保護者の就労等により、家庭で保育のできない小学生
	事業概要	学童クラブの設置、運営 放課後に保護者が不在となる小学生に対して安全な遊びと生活の場を提供する。 【開設日】月曜日から土曜日(祝日・年末年始等を除く) 【開設時間】原則として平日は下校後から午後7時まで。学校休業日は最長午前7時30分から午後7時。 【開設場所】佐久穂クラブ(こどもセンター) しらかばクラブ(しらかば体育館)
	意図	小学生の放課後の居場所を確保することで、保護者の子育てと仕事や介護等の両立を支援する。長期休業や学校計画休は希望により午前7時30分からの受入を実施し、安心・安全に過ごせるような場所の提供を推進する。
	事業実施の背景・これまで経過	共働き・ひとり親家庭への支援として保育園では延長保育が整備されているにもかかわらず、こどもの就学とともに子育て環境が激変し、仕事の継続が困難になる子育て世帯(小1の壁)に対応するため、放課後児童健全育成事業(学童クラブ)が導入された。 旧町村で行われていた当該事業について、平成17年度に見直しを行い、平成18年度から新たに佐久穂町放課後児童健全育成事業を展開している。当時は各小学校区で事業展開。 平成27年度の小学校統合に伴い新設した児童館(現こどもセンター)に学童クラブを一部統合し、しらかばクラブとあわせて現在2クラブを運営。また平成27年度から利用料の改定をした。 運営にあたっては県費・国庫の補助金を活用している。

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	栄保育園(通常保育)	開始年度	
事務事業通番	103241 予算名	栄保育所	枝番
分類区分	ソフト(任意)	補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実 設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	II 子育て・教育コミュニティ「住み続ける誇り」を養い「選ばれた町の魅力」をもたらす子育て・教育環境の形成 設定した目標   II 生産年齢人口(15~64歳)における「子育て・教育環境魅力指数」-町/行政以外
施策	II-2 地域で支える、生きる力を涵養する保育、乳幼児教育 重要業績評価指標(KPI)   II-2 保育園の行事へ参加する大人の人数(運動会等を除く地域交流会)
事業名	II-2 (2) 通常保育事業(本に親しむ習慣を身につける・体験保育の充実・園外保育の実施)

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略	基本目標	3.45/3.11	3.65/3.45									
	施策	17人	45人/年	42人/年	43人/年	41人/年	0人/年					

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	35,098	42,054	39,277	48,489	46,663	46,960						
財源内訳	一般財源	33,287	36,270	37,159	46,105	41,334	41,257					
	国県補助金	0	1,130		45	221	252					
	その他	1,811	4,654	2,118	2,339	5,108	5,451					
人件費	職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00					
	職員数(B)			0.95	0.95	0.95	0.95					
	職員数(C)			8.60	6.10	6.65	6.65					
	正職員以外 概算人件費	0	0	84,337	67,489	68,975	76,882	0	0	0	0	0
総事業費	35,098	42,054	123,614	115,978	115,638	123,842	0	0	0	0	0	

## ⑧ 内部取扱事項

--

⑤ 対象	家庭での保育に欠ける児童・保育を必要とする児童及びその保護者
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育指針に基づく、養護と教育を保育計画に定め、年齢ごとの保育を実施(保育標準時間 7:30~18:30 保育短時間 8:00~16:00)</li> <li>・保育相談等を通じ、家庭、保護者の子育てを支援、指導</li> </ul>
意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期に、保育園において児童の身体的発達と情緒形成を図る。</li> <li>・子育てで家庭等保護者が、安心して働くことができる環境を整える。</li> </ul>
事業実施の経緯・こ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済の高度成長に伴い、就労する母親が急増した。家庭での保育が困難になったため、家庭に変わって保育する場所として保育所の設置が求められ、昭和40年に栄保育園が開園した。(定員120名)</li> <li>その後未満児保育・長時間保育・土曜日の希望保育を要望する保護者が増えたため、昭和57年に平林地区に「平林保育園」が開園した。(定員60名)</li> <li>さらに、平成12年、2園が統合されて、定員120名の「栄保育園」として現在の場所へと移転した。</li> <li>・障がい児だけでなく発達に課題のある児童が年々増加傾向にあるなか、平成23年度から 町内3保育園でオンリーワン支援事業が始まり、気になる子(困り感のある子)については個別支援会議へとつなげ、今後の支援方法を見出せるよう体制づくりをした。</li> </ul>

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	栄保育園(延長保育)	開始年度	
事務事業通番	103241	予算名	栄保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	2
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例	補助/単独	単独
関係する個別計画	子ども・子育て支援法		
	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	延長保育を希望する児童
事業概要	子ども・子育て支援新制度で認定時間を超えて保育を必要とする児童の預かり ・延長保育を必要とする児童の保育 保育標準時間認定児童・・・18:30～19:00 保育短時間認定児童・・・ 7:30～ 8:00 16:00～19:00 ・保育形態については、未満児、3歳以上児に分けて混合保育
意図	・就労形態の多様化に伴い、延長保育に対応することで保護者の子育てと就労の両立を支援していく。
事業実施の経緯・こ	・平成12年に栄保育園が改築された時、「新規の子育て支援事業」として、長時間保育が実施された。 ・平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」が導入され、保育の必要量が11時間の場合は「保育標準時間」、8時間の場合は「保育短時間」の認定がされ、必要に応じて延長保育の利用が可能となった。 ・就労する保護者が増加するなかで、子育て支援の有効な手段になっている。 ・延長保育を利用する児童の増加する一方で、その時間保育にあたる保育士の不足が課題となっている。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	35,098	42,054	39,277	48,489	46,663	46,961						
財源内訳												
一般財源	33,287	36,270	37,159	46,105	41,334	41,257						
国県補助金		1,130		45	221	252						
その他	1,811	4,654	2,118	2,339	5,108	5,451						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.00	0.00	0.00	0.02						
職員数(C)			0.21	0.78	0.21	0.81						
正職員以外			2,691	1,872	2,360	2760						
概算人件費	0	0	4,400	6,919	4,016	8,300	0	0	0	0	0	0
総事業費	35,098	42,054	43,677	55,408	50,679	55,261	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	栄保育園(一時保育)	開始年度	
事務事業通番	103241	予算名	栄保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	3
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例	補助/単独	単独
関係する個別計画	子ども・子育て支援法		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
設定した目標	—
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 —
施策	重要業績評価指標(KPI) —
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	保護者及び家族の傷病、労働により緊急、一時的に家庭での保育が困難となる児童の預かり
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時保育を希望する児童の預かり</li> <li>児童は同年齢のクラスで保育する</li> </ul>
意図	通園児以外で突発的、緊急的に保育を必要とする世帯が、安心して児童を預けられるようにする。
事業実施の経緯・こ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年に栄保育園が改築された時に、子育て支援事業の新規事業として実施された。それを機に「子育て支援室」も完備された。</li> <li>平成25年度から、海瀬保育園・八千穂保育園でも対応できるようになった。</li> <li>保育を必要とする世帯の緊急時、一時的な受け入れに対応していた。</li> </ul>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	—	—										
創生戦略												
基本目標	—	—										
施策	—	—										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	35,098	42,054	39,277	48,489	46,663	46,961						
財源内訳												
一般財源	33,287	36,270	37,159	46,105	41,334	41,257						
国県補助金		1,130		45	221	252						
その他	1,811	4,654	2,118	2,339	5,108	5,451						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.01	0.01	0.01	0.01						
職員数(C)			0.00	0.00	0.00	0.00						
正職員以外			115	338	338	135						
概算人件費	0	0	217	476	476	240	0	0	0	0	0	0
総事業費	35,098	42,054	39,494	48,965	47,139	47,201	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	栄保育園(希望保育)	開始年度	
事務事業通番	103241	予算名	栄保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	4
		補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	土曜日、長期休みに保護者の勤務等の関係で、家庭での保育が困難となる児童
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両親が勤めだったり、病人の介護等保育を必要とする児童を預かる。(3園合同で栄保育園)</li> <li>・正規職員は、半日交代で保育にあたり、申込人数により臨時職員にも対応してもらう。</li> </ul>
意図	・保護者の就労を支援し、子育てと仕事の両立を図る。
事業実施の経緯・こ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年に栄保育園が改築された時、新規の子育て支援事業として始まる。</li> <li>・勤務形態の多様化により、土曜日や休園日に勤務を要する保護者が増加してきた。</li> <li>・「子ども・子育て支援新制度」の導入により就労支援がなされたことで、さらに土曜日でも子どもを保育園に預け、働きに出る世帯が増加した。</li> <li>・町内3保育園からの児童を受け入れ、各園の職員が交替で勤務にあたっている。未満児が多いため、職員数も多く必要とするが、当日のキャンセルの状況によっては調整が必要になる。</li> </ul>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	35,098	42,054	39,277	48,489	46,663	46,961						
財源内訳												
一般財源	33,287	36,270	37,159	46,105	41,334	41,257						
国県補助金		1,130		45	221	252						
その他	1,811	4,654	2,118	2,339	5,108	5,451						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(C)			0.07	0.06	0.07	0.08						
正職員以外			1,211	1,161	1,135	1,224						
概算人件費	0	0	1,831	1,712	1,743	1,907	0	0	0	0	0	0
総事業費	35,098	42,054	41,108	50,201	48,406	48,868	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	栄保育園(未就園児交流会)	開始年度	
事務事業通番	103241	予算名	栄保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	5
		補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	未就園児とその保護者
事業概要	・未就園児が園庭や遊戯室等で楽しく安全に遊べるような環境設定をし、保育園児との交流を行っている。
意図	・未就園児が安心して遊べる場の提供と保護者の子育ての軽減につなげたい。 ・就園にあたり、保護者の保育園理解につながる機会にしたい。
事業実施の経緯・こ	・平成17年に町村合併が行われ、それを機に、子育て支援事業の一環として就園前の児童とその保護者を対象に始まる。 ・就園前の児童と園児がふれあいをもちながら、集団の場に親しんだり、その保護者も安心して子どもを遊ばせられるようにとの願いのもと、年5回実施された。 ・平成23年度から、年8回に増え、現在に至っている。  ・園児や未就園児が安心して遊べる場となっており、保護者にとっても情報交換したり、子育ての悩みを相談できる場になっている。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	35,098	42,054	39,277	48,489	46,663	46,961						
財源内訳												
一般財源	33,287	36,270	37,159	46,105	41,334	41,257						
国県補助金		1,130		45	221	252						
その他	1,811	4,654	2,118	2,339	5,108	5,451						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.01	0.01	0.01	0.01						
職員数(C)			0.07	0.06	0.06	0.06						
正職員以外			0	0	0	0						
概算人件費	0	0	510	449	449	449	0	0	0	0	0	0
総事業費	35,098	42,054	39,787	48,938	47,112	47,410	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

①	事務事業名	海瀬保育園(通常保育)	開始年度	
	事務事業通番	103242	予算名	海瀬保育所
	分類区分	施設管理	枝番	1
	事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例	補助/単独	単独
	関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

②	総合計画の体系(H29~R8)			
	基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり		
	施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実		
		設定した目標	-	
	主な施策	9-2 保育サービスの充実		

③	コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)			
	基本目標	II 子育て・教育コミュニティ「住み続ける誇り」を養い「選ばれた町の魅力」をもたらす子育て・教育環境の形成		
		設定した目標	II 生産年齢人口(15~64歳)における「子育て・教育環境魅力指数」-町/行政以外	
	施策	II-2 地域で支える、生きる力を涵養する保育、乳幼児教育		
		重要業績評価指標(KPI)	II-2 保育園の行事へ参加する大人の人数(運動会等を除く地域交流会)	
	事業名	II-2 (2)通常保育事業(本に親しむ習慣を身につける・体験保育の充実・園外保育の実施)		

④	行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
	活動計画名	

⑥	目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	総合計画	-	-										
	創生戦略	基本目標	3.45/3.11	3.65/3.45									
		施策	17人	45人/年	64人/年	84人/年	75人/年	0人/年					

(千円)

⑦	決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	事業費	29,322	31,436	34,164	39,012	36,450	31,388						
財源内訳	一般財源	28,207	29,278	30,913	37,248	29,180	30,075						
	国県補助金	0			45	179	143						
	その他	1,115	2,158	3,251	1,719	7,091	1,170						
人件費	職員数(A)												
	職員数(B)			0.95	0.95	0.95	0.95						
	職員数(C)			7.60	7.60	6.10	4.75						
	正職員以外			19545	21706	14784	14,993						
	概算人件費	0	0	76,898	79,405	62,245	54,270	0	0	0	0	0	0
	総事業費	29,322	31,436	111,062	118,417	98,695	85,658	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

⑤	対象	家庭での保育に欠ける児童・保育を必要とする児童及びその保護者
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育指針に基づく、養護と教育を保育計画に定め、年齢ごとの保育を実施(保育標準時間 7:30~18:30 保育短時間 8:00~16:00)</li> <li>・保育相談等を通じ、家庭、保護者の子育てを支援、指導</li> </ul>
	意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期に、保育園において児童の身体的発達と情緒形成を図る。</li> <li>・子育て家庭等保護者が、安心して働くことができる環境を整える。</li> <li>・各種交流会を通して、地域連携を図り活性化に繋げる。</li> <li>・3園の交流事業により統合小学校進学に支障解消を図る。</li> </ul>
	事業実施の背景・これまでの経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済の高度成長に伴い、就労する母親が急増した。家庭において、保育できない子ども達が安心して一日を過ごせる生活の場として昭和41年10月「海瀬保育園」が設置された。海瀬地区を中心とする世帯の子ども達を受け入れ保育にあたったが、園舎の老朽化に伴い、平成16年2月に現在の場所へと移転した。</li> <li>・翌年、佐久町、八千穂村の町村合併が行われ、平成19年に大日向保育園が休園に入ると大日向地区の園児も海瀬保育園へと転園し、現在に至っている。</li> <li>・近年、配慮が必要な子どもが増えてきた。このような子ども達の現状を把握し、保護者や専門機関との連携を図りながら、児童が安心して集団生活を送れるよう、平成23年度より「オンリーワン支援事業」を開始した。「気になる子(困り感のある子)」については、個別支援会議へとつなげ、今後の支援方法を見出すようにした。</li> <li>・保育所は、子育て支援、子ども支援の場である施設として大切な役割をはたしている。</li> <li>・入所児童、保護者の現状を踏まえ、個々に寄り添った対応を心がけているので安心して過ごせる場になっている。</li> <li>・保育所は効率性を追い求めるだけではなく、養護と教育が一体的に展開され、保育の内容を豊かに繰り広げていくことが大切である。</li> <li>・男女共同参画社会を推進する国の政策、各企業の人手不足から母親の就労が増えてきている。それに伴い未満児保育、延長保育の需要が増えている。</li> </ul>

# 事務事業シート\_基礎シート

①	事務事業名	海瀬保育園(延長保育)	開始年度	
	事務事業通番	103242 予算名	海瀬保育所	枝番
	分類区分	施設管理	補助/単独	単独
	事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
	関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

②	総合計画の体系(H29~R8)			
	基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり		
	施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実		
		設定した目標	-	
	主な施策	9-2 保育サービスの充実		

③	コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)			
	基本目標	設定した目標	-	
	施策	重要業績評価指標(KPI) -		
	事業名			

④	行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)			R2
	活動計画名			

⑥	目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	総合計画	-	-										
	創生戦略	基本目標	-	-									
		施策	-	-									

(千円)

⑦	決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
	事業費	29,322	31,436	34,164	39,012	36,450	31,388						
財源内訳	一般財源	28,207	29,278	30,913	37,248	29,180	30,075						
	国県補助金	0			45	179	143						
	その他	1,115	2,158	3,251	1,719	7,091	1,170						
	人件費												
	職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
	職員数(B)			0.00	0.00	0.00	0.00						
	職員数(C)			0.24	0.35	0.24	0.15						
	正職員以外			1475	1167	924	1317						
	概算人件費	0	0	3,172	3,484	2,533	2,441	0	0	0	0	0	0
	総事業費	29,322	31,436	37,336	42,496	38,983	33,829	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

⑤	対象	子ども子育て支援制度で「保育標準時間」利用する児童・「保育短時間」利用する児童が保育時間を超えて保育を必要とする児童の預かり。
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育を必要とする児童の保育</li> <li>・「保育標準時間」児童・・・18:30~19:00</li> <li>・「保育短時間」児童・・・7:30~8:00・16:00~19:00</li> <li>・保育形態については、未満児、3歳以上児に分けて混合保育</li> </ul>
	意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就労形態の多様化に伴い、延長保育の対応することで、子育てと就労の両立を支援していきたい。</li> <li>・異年齢保育の中でも安心して過ごせる環境づくりに心がけ、異年齢児ならではの児童の育ちを助長</li> </ul>
	事業実施の経緯・こ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和41年10月に開園した当時は、行われていなかった。その後、就労する母親の増加、核家族化などにより必要性が求められ、平成17年4月より開始された。受け入れ時間は 7時30分~18時30分であったがその後、19時までの要望があり、延長されることになり現在に至っている。</li> <li>・保護者のニーズに対応できるよう対策をとっており、就労支援・子育て支援に繋がっている。</li> <li>・長期的な受け入れだけでなく、急な受け入れにも対応している。</li> <li>・急な受け入れなどの場合には、保育士の確保に苦慮することがある。</li> <li>・男女共同参画社会を推進する国の政策、各企業の人手不足から母親の就労が増えてきている。それに伴い未満児保育、延長保育の需要が増えている。</li> </ul>

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	海瀬保育園(一時保育)	開始年度	
事務事業通番	103242 予算名	海瀬保育所	枝番 3
分類区分	施設管理		補助/単独 単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実 設定した目標 -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 -
施策	重要業績評価指標(KPI) -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	保護者及び家族の傷病、労働により緊急、一時的に家庭での保育が困難となる児童の預かり
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時保育を希望する児童の預かり</li> <li>児童が同年齢のクラスで過ごせるようであれば、同年齢のクラスを利用する。</li> </ul>
意図	・通園児以外で突発的、緊急的に保育を必要とする場。
事業実施の経緯・こ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年に栄保育園が改築された時に新規事業の一つとして子育て支援事業「一時保育」が始まった。それに合わせて「支援室」も完備された。</li> <li>一時保育は、はじめは、栄保育園だけで行われており、海瀬、八千穂地区の児童は、利用するには栄保育園に行くしかなかった。平成25年より海瀬保育園、八千穂保育園でも利用できるようになった。</li> <li>保護者の緊急時に素早く対応しているため、安心して子育てができるよう支援の体制ができている。</li> <li>同じ年齢で定めている定員の範囲内であれば、そのクラスにて保育をし、効率的な運営をはかっている。</li> </ul>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	29,322	31,456	34,164	39,012	36,450	31,388						
財源内訳												
一般財源	28,207	29,278	30,913	37,248	29,180	30,075						
国県補助金	0			45	179	143						
その他	1,115	2,158	3,251	1,719	7,091	1,170						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.01	0.01	0.01	0.01						
職員数(C)			0.00	0.00	0.00	0.00						
正職員以外			212	180	30.00	232						
概算人件費	0	0	330	293	119	353	0	0	0	0	0	0
総事業費	29,322	31,456	34,494	39,305	36,569	31,741	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	海瀬保育園(未就園児交流会)	開始年度	
事務事業通番	103242	予算名	海瀬保育所
分類区分	施設管理	枝番	4
		補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	29,322	31,436	34,164	39,012	36,450	31,388						
財源内訳												
一般財源	28,207	29,278	30,913	37,248	29,180	30,075						
国県補助金	0			45	179	143						
その他	1,115	2,158	3,251	1,719	7,091	1,170						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.00	0.00	0.01	0.01						
職員数(C)			0.01	0.01	0.06	0.01						
正職員以外			0	0	0	0						
概算人件費	0	0	61	61	449	145	0	0	0	0	0	0
総事業費	29,322	31,436	34,225	39,073	36,899	31,533	0	0	0	0	0	0

⑧ 内部取扱事項	
----------	--

⑤ 対象	・未就園児とその保護者
事業概要	・未就園児が思い思いのものでゆっくり遊べるように園庭や園内をを開放し、行っている。また、保育園児と遊びを通して交流をする場面を多く設定している。
意図	・未就園児が安心して遊べる場の提供とその保護者の子育ての軽減につなげる ・入園にあたり、保護者の保育園理解につながる機会にする ・未就園児にとっては集団生活を円滑に送るための準備体験となり、在園児にとっては新入園児への親しみや思いやりといった情緒の形成につなげる。 ・母親同士の親睦を図り、地域の中での孤立を防ぐ
事業実施の背景・これまで経過	・平成17年度より未就園児の児童とその保護者に向けて未就園児交流会がはじまった。入園前の児童が保育園児と触れ合いをもちながら、集団の場に親しんだり、その保護者も安心して遊ばせられるようにとの願いのもと現在も年8回行っている。 ・活動を毎年継続してきたことで定着してきている。 ・その月々にあった遊びを提供しており、親子で楽しく過ごすことができている。 ・未就園児とその保護者の子育てについての情報交換、遊び、相談の場を提供することで、子育て支援、子ども支援につながっている。 ・園の様子を知り、親子で楽しんでもらうことで円滑な就園につながっていく。

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	海瀬保育園(園庭開放)	開始年度	
事務事業通番	103242 予算名	海瀬保育所	枝番
分類区分	施設管理		補助/単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標
	—
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標
	—
施策	重要業績評価指標(KPI)
	—
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就学前の全児童対称</li> <li>・子育て相談については園庭解放に来て相談を希望する保護者</li> </ul>
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭解放と子育て相談(5月~10月までの第1,3,5土曜日・AM 9:00~11:30 (ただし、子育て相談は事前予約にて実施)</li> </ul>
意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児が安心して遊べる場の提供とその保護者の子育ての軽減につなげる。</li> <li>・保護者の情報交換の場であったり、悩みの解決の糸口になる。</li> </ul>
事業実施の背景・これまで経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度より安心して遊べる場の提供ということで行っている事業である。保護者にとって子どもと関わる場の一つとなっている。また、参加している他の保護者との情報交換の場にもなっており、交流する姿もみられる。園庭開放の日には、「子育て相談」も行われ、園長が対応している。</li> <li>・子どもたちの遊び場、親子での触れ合いの場、保護者の情報交換の場の提供として大切な事業といえる。</li> </ul>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	29,322	31,436	34,164	39,012	36,450	31,388						
財源内訳												
一般財源	28,207	29,278	30,913	37,248	29,180	30,075						
国県補助金	0		45	179	143							
その他	1,115	2,158	3,251	1,719	7,091	1,170						
人件費												
職員数(A)			0.00	0.00	0.00	0.00						
職員数(B)			0.02	0.02	0.03	0.03						
職員数(C)			0.00	0.00	0.00	0.00						
正職員以外			0	0	0	0						
概算人件費	0	0	168	168	252	252	0	0	0	0	0	0
総事業費	29,322	31,436	34,332	39,180	36,702	31,640	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	八千穂保育園(通常保育)	開始年度	
事務事業通番	103243	予算名	八千穂保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	1
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例	補助/単独	単独
関係する個別計画	子ども・子育て支援法		
	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	II 子育て・教育コミュニティ「住み続ける誇り」を養い「選ばれる町の魅力」をもたらす子育て・教育環境の形成
	設定した目標 II 生産年齢人口(15~64歳)における「子育て・教育環境魅力指数」-町/行政以外
施策	II-2 地域で支える、生きる力を涵養する保育、乳幼児教育
	重要業績評価指標(KPI) II-2 保育園の行事へ参加する大人の人数(運動会等を除く地域交流会)
事業名	II-2 (2)通常保育事業(本に親しむ習慣を身につける・体験保育の充実・園外保育の実施)

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	家庭での保育に欠ける児童・保育を必要とする児童及びその保護者
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育指針に基づく、養護と教育を保育計画に定め、年齢ごとの保育を実施(保育標準時間 7:30~18:30 保育短時間 8:00~16:00)</li> <li>・保育相談等を通じ家庭、保護者の子育てを支援、指導</li> </ul>
意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児期に、保育園において児童の身体的発達と情緒形成を図る。</li> <li>・子育て家庭等保護者が、安心して働くことができる環境を整える。</li> <li>・各種交流会を通して、地域連携を図り活性化に繋げる。</li> <li>・3園の交流事業により統合小学校進学に支障解消を図る。</li> </ul>
事業実施の経緯・こ	<p>・昭和59年、八千穂村に2園あった保育園が統合され1園になった。それ以来長年にわたって利用されてきたため、いたる箇所が老朽化し修繕が必要になってきていた。そこで平成30年度から令和2年度にかけて、保育室及び調理室の改修、身障者用トイレの設置、廊下の張替え工事等を行い、さらに園庭遊具の入れ替えも実施した。</p> <p>また、温暖化による夏場の猛暑に対応すべく、各保育室にエアコン設置も行った。子ども達が、安全で安心して過ごせるための環境づくりは、子どもの多い少ないにかかわらず大切なことである。</p>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略	基本目標	3.45/3.11	3.65/3.45									
	施策	17人	45人/年	60人/年	27人/年	35人/年	0人/年					

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	24,965	21,536	19,070	34,337	47,103	63,144						
財源内訳	一般財源	17,442	20,382	17,584	32,477	26,697	31,593					
	国県補助金	6,664			45	175	704					
	その他	859	1,154	1,486	1,815	20,231	30,847					
	職員数(A)											
人件費	職員数(B)			0.95	0.95	0.95	0.95					
	職員数(C)			6.65	4.75	6.65	4.75					
	正職員以外			7,321	9,995	11,723	10,620					
	概算人件費	0	0	56,936	48,472	62,042	49,197	0	0	0	0	0
総事業費	24,965	21,536	76,006	82,809	109,145	112,341	0	0	0	0	0	

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	八千穂保育園(延長保育)	開始年度	
事務事業通番	103243	予算名	八千穂保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	2
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例	補助/単独	単独
関係する個別計画	子ども・子育て支援法		
	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	延長保育を希望する児童及びその保護者
事業概要	子ども・子育て支援新制度で認定時間を超えて保育を必要とする児童の預かり ・延長保育を必要とする児童の保育 保育標準時間認定児童・・・18:30~19:00 保育短時間認定児童・・・・・・7:30~ 8:00 16:00~19:00 ・30分ごとに50円の料金がかかる。
意図	・就労形態の多様化に伴い、延長保育に対応することで、保護者の子育てと就労の両立を支援していく。
事業実施の経緯・こ	・旧八千穂村では、18時までの長時間保育を行っていた。その後、保護者の要望により19時まで延長した。利用者は少なく、通常は18時30分までの迎えが一般的だったが、年度によっては19時までの利用者もあり、安心して預けていただいている。 ・園児は減っているが、延長保育の割合は高くなっている。その日によって延長希望の子ども的人数に差があるが、職員の勤務時間を調整するなどして何とか対応できている。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	24,965	21,536	19,070	34,337	47,103	63,144						
財源内訳												
一般財源	17,442	20,382	17,584	32,477	26,697	31,593						
国県補助金	6,664			45	175	704						
その他	859	1,154	1,486	1,815	20,231	30,847						
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)			0.02	0.02	0.02	0.02						
職員数(C)			0.23	0.15	0.21	0.15						
正職員以外			702	824	924	1416						
概算人件費	0	0	2,382	2,037	2,518	2,723	0	0	0	0	0	0
総事業費	24,965	21,536	21,452	36,374	49,621	65,867	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	八千穂保育園(一時保育)	開始年度	
事務事業通番	103243	予算名	八千穂保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	3
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例 子ども・子育て支援法	補助/単独	単独
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
設定した目標	—
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   —
施策	重要業績評価指標(KPI)   —
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	保護者及び家族の傷病、労働により緊急、一時的に家庭での保育が困難となる児童の預かり
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時保育を希望する児童の預かり</li> <li>児童は同年齢のクラスで保育する</li> </ul>
意図	通園児以外で突発的、緊急的に保育を必要とする世帯が、安心して児童を預けられる場となるようにする。
事業実施の経緯・こ	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成12年度～24年度まで子育て支援事業として実施された一時保育は、栄保育園のみで行われていた。平成25年度になり、各園で対応してほしいという要望を受け、海瀬保育園・八千穂保育園でも対応できるようになった。</li> <li>緊急の場合の子育て支援としては、大変有効である。里帰り出産などにも対応している。</li> <li>母親が小さい子を抱えて息詰まってしまうたり、リフレッシュするために預けたいというケースも増えてきている。</li> </ul>

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	24,965	21,536	19,070	34,337	47,103	63,144						
財源内訳												
一般財源	17,442	20,382	17,584	32,477	26,697	31,593						
国県補助金	6,664			45	175	704						
その他	859	1,154	1,486	1,815	20,231	30,847						
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)												
正職員以外			128	149	284	40						
概算人件費	0	0	148	173	329	46	0	0	0	0	0	0
総事業費	24,965	21,536	19,218	34,510	47,432	63,190	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	八千穂保育園(未就園児交流会・かるがもクラブ)	開始年度	
事務事業通番	103243	予算名	八千穂保育所
分類区分	ソフト(任意)	枝番	4
事務事業の法的根拠	児童福祉法 保育所条例	補助/単独	単独
関係する個別計画	子ども・子育て支援法		
	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標
	—
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標
	—
施策	重要業績評価指標(KPI)
	—
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	【未就園児交流】八千穂保育園で親子で遊びたいと思う保護者とその児童 【かるがもクラブ】翌年保育園に入園予定の2歳児の親子(限定6組)
事業概要	【未就園児交流会】 ・時間…9:30~11:00 ・内容…天候や時期に応じ、園庭や遊戯室等を開放して園児と触れ合って遊ぶ。夏にはプールの開放も行う。 【かるがもクラブ】 ・対象…翌年保育園に入園予定の2歳児の親子 ・時期…6月~2月 月1回 ・時間…9:30~11:00 ・内容…保育園の生活や遊びをプレ体験する。
意図	【未就園児】八千穂保育園を知ってもらい、子どもを入園させてほしい。・いろいろな年齢の子どもを見て、子どもの育ちを知ってほしい。・園児と保育士の関わり方を見て、参考にしてほしい。【かるがも】保育園の生活を知ること、翌年入園する際の不安を和らげてほしい。
事業実施の背景・これまで経過	【未就園児交流会】 ・平成17年度、合併から就園前の児童とその保護者に子育て支援の一環として、「未就園児交流会」が始まる。 ・就園前の児童と園児がふれあいをもちながら、集団の場に親しんだり、その保護者も安心して子どもを遊ばせられるようにとの願いのもと、年5回実施された。 ・平成23年度から年8回に増え現在に至る。 ・園庭開放は、平成21年度から希望登園を行っていない海瀬保育園と八千穂保育園の2園で実施することとなるが、八千穂保育園は園児数も年々10人単位で減少しており、相対的な利用者が少なくなり、現在では海瀬保育園で行われるのみとなった。 【かるがもクラブ】 ・初めての子育てで、子どもの成長の過程をどうとらえ、どのように子どもと向き合い関わったらよいかわからない保護者が増えている。スマホの普及により、情報量が多いが、自分自身で考えて判断する子育てができにくくなっている。そのため、保育園に入る前の時点で、親子の愛着関係が築けず、親子関係をこじらせてしまっているケースも、多々見受けられる。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	24,965	21,536	19,070	34,337	47,103	63,144						
財源内訳												
一般財源	17,442	20,382	17,584	32,477	26,697	31,593						
国県補助金	6,664			45	175	704						
その他	859	1,154	1,486	1,815	20,231	30,847						
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)			0.01	0.01	0.01	0.01						
職員数(C)			0.52	0.05	0.05	0.05						
正職員以外												
概算人件費	0	0	3,249	388	388	388	0	0	0	0	0	0
総事業費	24,965	21,536	22,319	34,725	47,491	63,532	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	園舎の維持管理	開始年度	
事務事業通番	103240	予算名	保育所一般経費
分類区分	施設管理	枝番	1
事務事業の法的根拠	児童福祉法、保育所条例、子ども子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
設定した目標	—
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標 —
施策	重要業績評価指標(KPI) —
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	144 栄・海瀬・八千穂保育園舎の施設管理
	A

⑤ 対象	保育を必要とする、保育園入園申し込み児童
事業概要	各保育園開設当初から、園児が毎日使用する遊具の定期点検や園舎の夜間火災対策や不審者の侵入の対応、又衛生的で安全な給食を提供するため厨房の清潔を保つなど総合的に保育園の維持管理に努めている。 夜間の施設警備業務委託 栄・海瀬・八千穂・・・セコム上信越㈱ 消防設備等の保守点検業務委託 栄・海瀬・・・長野県パトロール㈱、八千穂・・・セコム上信越㈱ 給食室消毒業務委託 栄・海瀬・八千穂・・・㈱長野県消毒公社 電気保安業務委託 栄保育園のみ・・・坂本電気管理事務所 遊具の点検委託 栄・海瀬・八千穂・・・㈱中村体育
意図	園舎の適正な保守管理。
事業実施の経緯・これまで	各保育園開設当初から、園児が毎日使用する遊具の定期点検や園舎の夜間火災対策や不審者の侵入の対応、又衛生的で安全な給食を提供するため厨房の清潔を保つなど総合的に保育園の維持管理努めている。 園舎を維持していくためには必要な経費である。園児数、通園距離、地域性などを考慮し、老朽化に伴う修繕をしながら、現状を維持していきたい。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	3,920	4,169	3,564	3,629	32,245	24,927						
財源内訳												
一般財源	3,920	4,016	3,549	3,610	25,620	24,924						
国県補助金	0	137	0	0	6,607	0						
その他		16	15	19	18	3						
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)			0.10	0.10	0.10	0.10						
正職員以外												
概算人件費	0	0	609	609	609	609	0	0	0	0	0	0
総事業費	3,920	4,169	4,173	4,238	32,854	25,536	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	園児の健診等	開始年度	
事務事業通番	103240	予算名	保育所一般経費
分類区分	ソフト(義務)	枝番	2
		補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法、保育所条例、子ども子育て支援法、学校保健安全法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	保育園入所児童
事業概要	園児の健康を維持するため、学校保健安全法に準じた健診を実施。 内科健診、尿検査・・・千曲病院 耳鼻科・眼科健診・・・佐久総合病院 歯科健診 栄・・・小須田歯科医院、海瀬・・・新海歯科医院、八千穂・・・青森歯科医院
意図	健康で健やかな子どもの成長を保持する。
事業実施の経緯・これまで	保育園開設当初から、園児の健康を維持するため、法令等で定められている事業である。 内科健診、尿検査・・・千曲病院 耳鼻科・眼科健診・・・佐久総合病院 歯科健診 栄・・・小須田歯科医院、海瀬・・・新海歯科医院、八千穂・・・青森歯科医院  法令で定められた検査項目であり、園児が健康で毎日を過ごすために必要な事業である。また、病気等が発見された場合には家庭との連絡を密にし、完治するまで支援している。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略	基本目標	-										
	施策	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	3,920	4,169	3,564	3,629	32,245	24,927						
財源内訳												
	一般財源	3,920	4,016	3,549	3,610	25,620	24,924					
	国県補助金	0	137	0	0	6,607	0					
	その他		16	15	19	18	3					
人件費												
	職員数(A)											
	職員数(B)											
	職員数(C)			0.05	0.05	0.05	0.05					
	正職員以外											
	概算人件費	0	0	304	304	304	304	0	0	0	0	0
総事業費	3,920	4,169	3,868	3,933	32,549	25,231	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	保育料賦課徴収事業	開始年度	
事務事業通番	103240	予算名	保育所一般経費
分類区分	ソフト(義務)	枝番	3
		補助/単独	単独
事務事業の法的根拠	児童福祉法、保育所条例、子ども子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)	R2
活動計画名	

⑤ 対象	保育園入所児童の保護者
事業概要	利用者負担の原則に基づき、法令、条例、規則等で定められている事業である。 世帯の課税状況に応じた保育料の賦課、徴収業務。 事務の効率を図るため(株)BSNアイネットの総合行政システムを利用し保育料賦課徴収業務を行っている。
意図	保護者の所得に応じて応分の負担をしていただき、保育園の健全な運営を推進する。
事業実施の背景・これまで経過	利用者負担の原則に基づき、法令、条例、規則等で定められている事業である。 事務の効率を図るため委託している。  国の制度改正等に対応しながら、世帯の所得状況に応じた適正な賦課を行っている。 システムが変更されたことに伴い、システムで対応できなくなった部分を手作業で補っているため人的な負担が増えた。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	3,920	4,169	3,564	3,629	32,245	24,927						
財源内訳												
一般財源	3,920	4,016	3,549	3,610	25,620	24,924						
国県補助金	0	137	0	0	6,607	0						
その他		16	15	19	18	3						
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)			0.40	0.40	0.40	0.40						
正職員以外												
概算人件費	0	0	2,435	2,435	2,435	2,435	0	0	0	0	0	0
総事業費	3,920	4,169	5,999	6,064	34,680	27,362	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--

# 事務事業シート\_基礎シート

① 事務事業名	広域入所費	開始年度	
事務事業通番	103245	予算名	広域入所費
分類区分	ソフト(義務)	枝番	
事務事業の法的根拠	児童福祉法、保育所条例、子ども子育て支援法		
関係する個別計画	子ども・子育て支援計画		

② 総合計画の体系(H29~R8)	
基本構想	重点施策B 選ばれ誇りを養う子育て・教育のまちづくり
施策	重点施策B 9 出産・子育て支援の充実
	設定した目標   -
主な施策	9-2 保育サービスの充実

③ コミュニティ創生戦略の位置づけ(H27~R1)	
基本目標	設定した目標   -
施策	重要業績評価指標(KPI)   -
事業名	

④ 行財政改革大綱における進捗状況(H26~R2)		R2
活動計画名	57 広域入所費	A

⑤ 対象	保育を必要とし、かつ家庭の事情で他市町村の保育所への入所を希望する児童
事業概要	法令等の定めにより運用している。 やむを得ない事由により町内の保育園に通所することが出来ない児童を他市町村の保育所へ保育を委託。 また、他市町村からの児童の受託。
意図	子育てと就労の両立を支援する。
事業実施の経緯・こ	保護者の就労形態の多様化に伴いその必要性が生じてこの事業が必要となった。、法令等の定めにより運用している。 保育を必要とし、勤務状況等のやむを得ない事由により町内の保育園に通所することができない児童を広域入所で支援していくことは今後も必要である。

⑥ 目標の達成状況	基準値(H27)	目標値(R3)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
総合計画	-	-										
創生戦略												
基本目標	-	-										
施策	-	-										

(千円)

⑦ 決算額の推移	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
事業費	7,798	6,384	6,485	4,202	1,368	1,904						
財源内訳												
一般財源	2,674	4,876	4,547	2,271	515	720						
国県補助金	3,120	1,508	1,938	1,931	853	1,184						
その他	2,004	0	0	0	0	0						
人件費												
職員数(A)												
職員数(B)												
職員数(C)			0.10	0.10	0.10	0.10						
正職員以外												
概算人件費	0	0	609	609	609	609	0	0	0	0	0	0
総事業費	7,798	6,384	7,094	4,811	1,977	2,513	0	0	0	0	0	0

## ⑧ 内部取扱事項

--